

まちづくり人養成講座～新しい時代の「話し合い」入門～

# アイデアが湧き出る会議にしよう

2015/07/16

アイデア・ラボ (β) 代表 池山敦



池山敦（42）

三重県生まれ 伊勢高校～新潟大学法学部

皇學館大学教育開発センター助教

アイディア・ラボ（β）代表

認定ワークショップデザイナー（大阪大学）／

ファシリテーター／日本創造学会員

＜ワークショップ実施実績＞

中部電力株式会社／株式会社デンソー／シャープ

株式会社／住友電装株式会社／大阪大学コミ

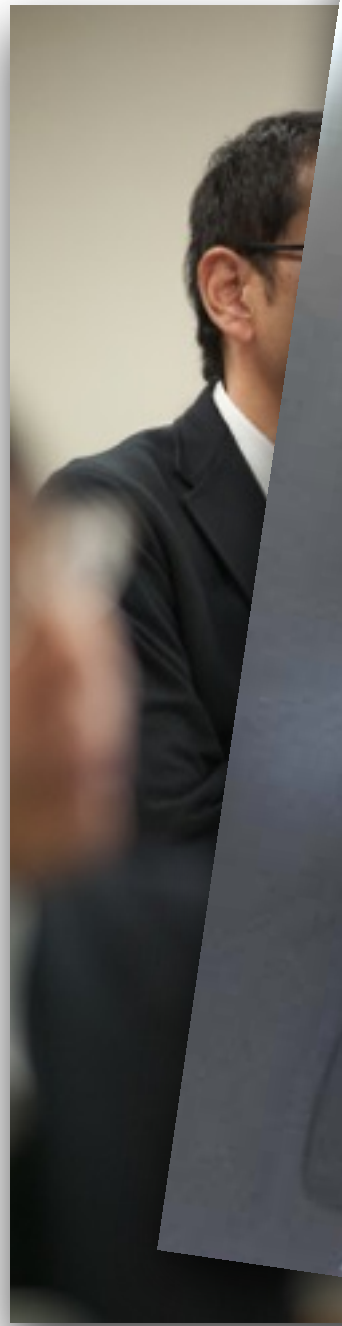
ニュケーションデザインセンター／三重大学／

大阪人間科学大学／三重県 他

＜専門分野＞学習環境デザイン、フューチャー

セッション、創造性開発、デザイン思考、未来

シナリオ、ダイアログ



42)

伊勢高校～新潟大学法学部

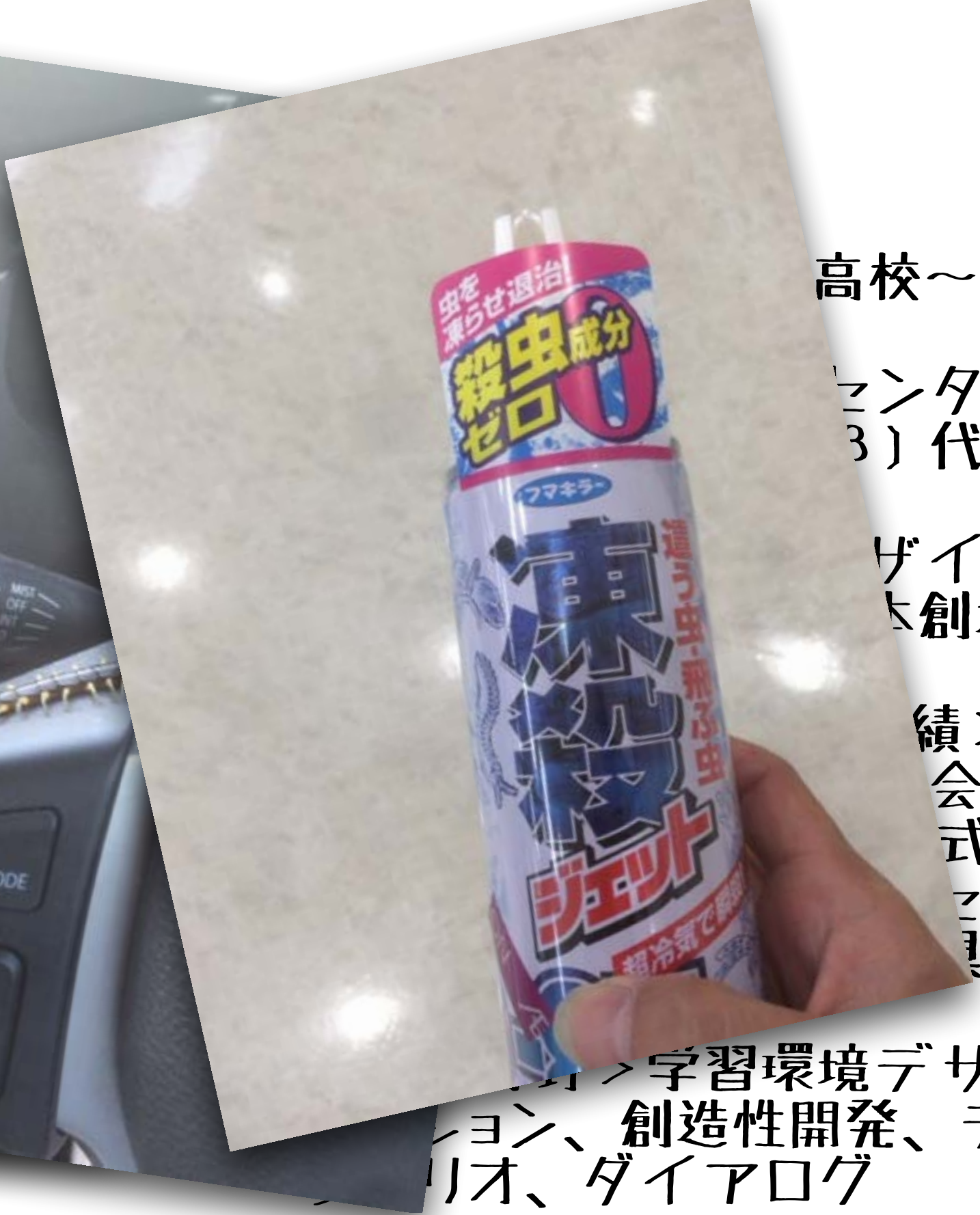
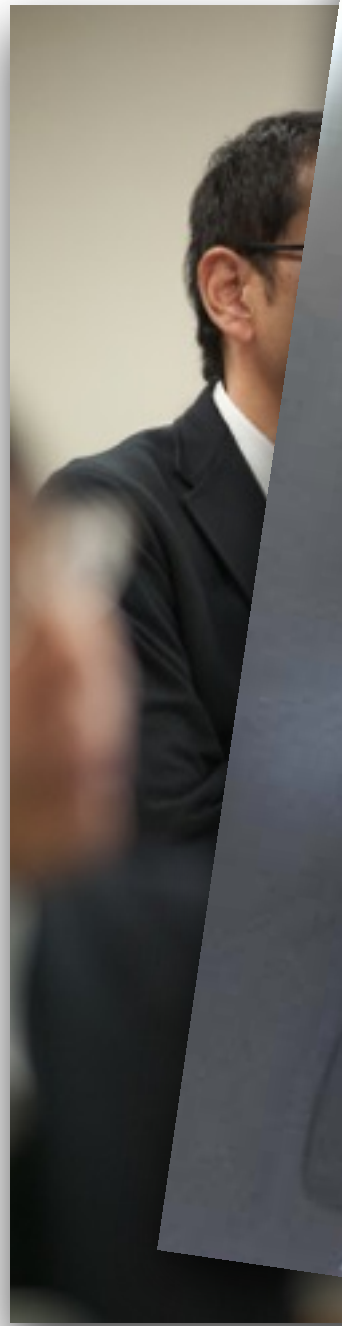
学教育開発センター助教  
ア・ラボ (β) 代表

クショップデザイナー (大阪大学) /  
レーター / 日本創造学会員

クショップ実施実績 >

力株式会社 / 株式会社デンソー / シャー  
会社 / 住友電装株式会社 / 大阪大学コミ  
ーションデザインセンター / 三重大学 /  
間科学大学 / 三重県 他

分野 > 学習環境デザイン、フューチャー  
ョン、創造性開発、デザイン思考、未来  
リオ、ダイアログ



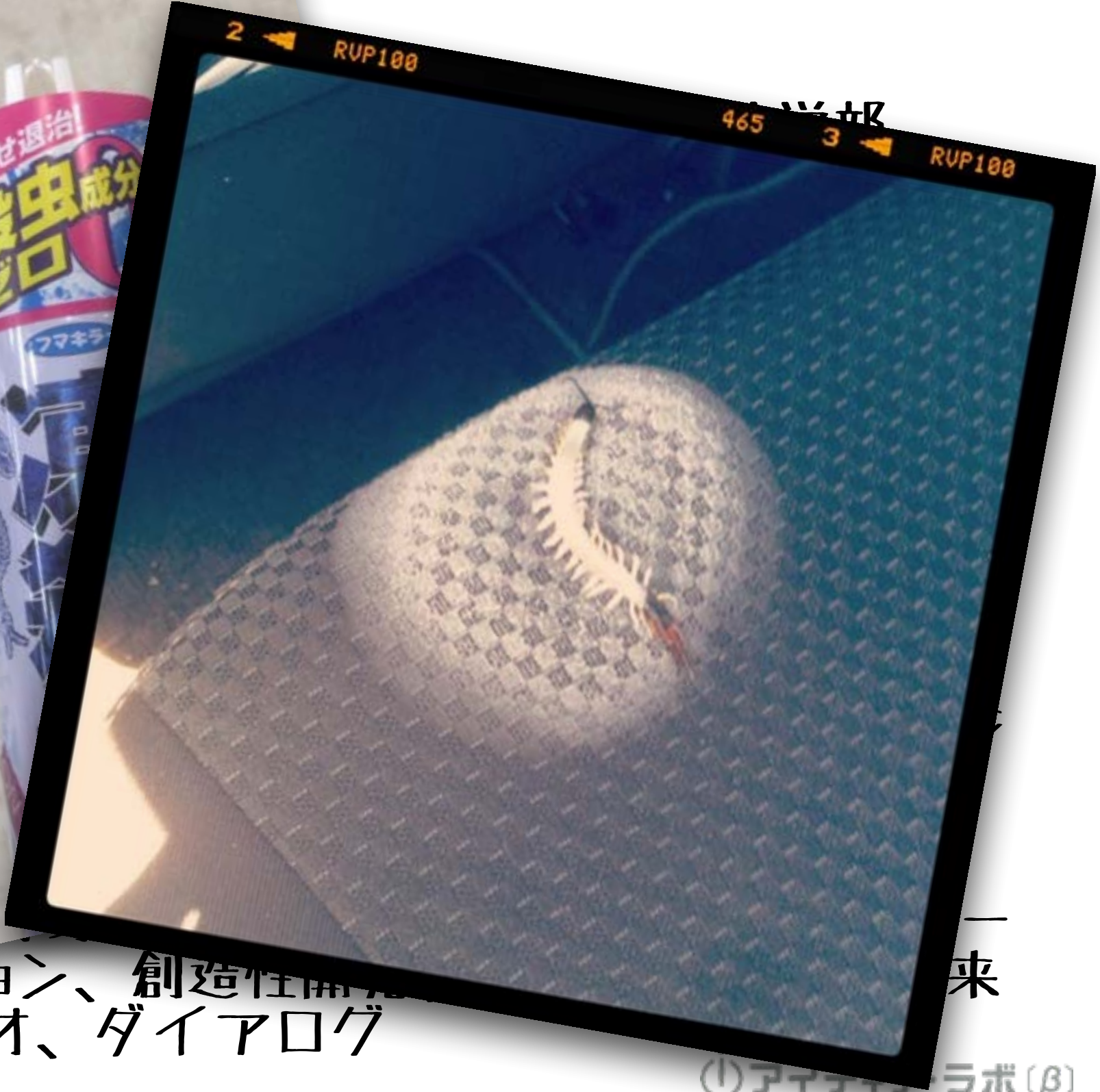
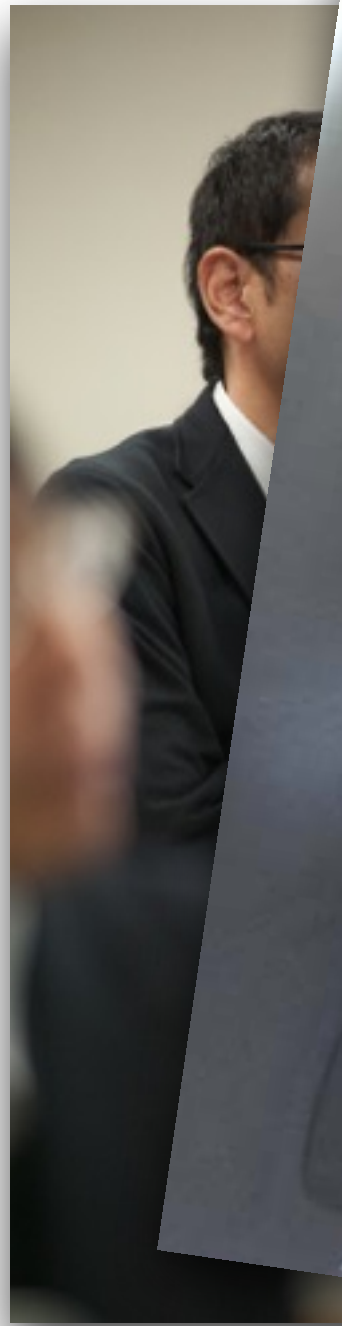
高校～新潟大学法学部

インター助教  
代表

デザイナー（大阪大学）/  
本創造学会員

績 >  
会社デンソー/シャー  
株式会社/大阪大学コミ  
インター/三重大学/  
他

学習環境デザイン、フューチャー  
イノベーション、創造性開発、デザイン思考、未来  
リオ、ダイアログ



ジョン、創造性開拓  
リオ、ダイアログ

来

① アヤシキラボ (β)

# 伊勢志摩 定住自立 学びます START

地域人材育成どころ



大学等が自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

地(知)の拠点整備事業  
のことが理解できた！  
**1マス進む。**

中心市と連携市町村とが相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体に必要な生活機能を確保し人口定住を促進することを目的とする取組です。  
平成25年7月18日、中心市である伊勢市と鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町が人口定住のために必要な生活機能の確保に向けて協定を締結しました。

STOP! 伊勢志摩定住自立圏のことを知った！  
**1マスずつ進む。**



「地域連携推進室」が自治体・産業界等との連携協定に基づく社会貢献事業を管理・推進することにより ①歴史文化観光資源領域 ②自然環境定住資源領域 ③地域経済・産業領域 ④地域福祉・教育資源領域 における学生及び教員による地域貢献活動件数や参加人数を向上させるとともに、三重県内の企業・団体等へのインターンシップ派遣企業数・派遣学生数を向上させることで定住を促し、地域再生・活性化を推進することができます。



社会貢献

圏域自治体の「生活機能の強化」・「ネットワークの強化」・「圏域マネジメント能力の強化」に関して、  
①歴史文化観光資源領域 ②自然環境定住資源領域 ③地域経済・産業領域 ④地域福祉・教育資源領域  
をプロジェクト研究の当面のフレームワークとし、学部・学科等の専門領域を超えて学際的に対応します。

研究

教育

STOP! 教育プログラムによる  
地域人材育成にチャレンジ！  
もう一度サイコロを振る。  
が出たら5マス進める

大学、自治体及び産業界が、各々が有する異なる教育資源を補充し合って圏域の将来問題を多面的に捉え主体的に行動できる人材養成のための教育プログラムを協働して開発し、学部学生や自治体職員・産業界者に対してプログラムを運用することを通じて、伊勢志摩定住自立圏全体で人口定住のために必要な生活機能を確保し、地域の活性化と発展を図ります。

伊勢志摩圏域の3市5町が参画する「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の課題を踏まえ、圏域の歴史文化観光資源、自然環境定住資源、地域経済・産業等を活かした総合学修プログラム「伊勢志摩定住自立圏共生学」(4科目)を開発し、学部学生が主体的に地域資源や圏域の現況と課題を学び、その中で圏域内自治体職員や職業人と協働して、新事業創出(6次産業化)の方法等について学修できる新たな教育課程の構築をめざします。

STOP! 伊勢志摩共生学を  
みんなで学び！  
**1回休み。**

## 伊勢志摩共生学

従来の1年次全学必修「伊勢学」を改善し、圏域の資源や課題を学ぶ科目(2単位)へ拡充します。



1年生対象  
全学共通科目(必修科目)

STOP! 自治体職員や職業人と  
協働して学び！  
**2マス進む。**

## 伊勢志摩定住自立圏 共生学 I~IV

歴史文化観光資源、自然環境定住資源、地域経済・産業等を活かした総合学修プログラムです。学生が主体的に現況と課題を学び、その中で自治体職員や職業人と協働して学修できる新たな教育課程を構築します。

2年生~対象  
学部横断的な副専攻プログラム(4科目)

## 伊勢志摩共生学 実習 A~D

「地域課題学修支援室」を整備し圏域をフィールドにした実習科目を新設します。学生は夏季休暇中に圏域の市町からエリアを選んで、3泊4日程度地域で寝泊りしながら自治体職員や住民とともに地域の社会サービス等を経験します。

STOP! 地域インターンシップ  
にチャレンジする！  
もう一度サイコロを振る。  
が出るまで先に進めない

- 成果目標
- 地域をテーマとした卒業研究数…100件
  - 連携自治体内での就職者数…80名
  - 地域志向の科目数…18科目
  - 地域志向研究の取組件数…40件

## 卒業研究 プロジェクト研究 I・II

各学科専門科目と圏域の課題解決学修の総合化を図ります。

STOP! 学びを活かして  
卒業研究に取り組み！  
**2マス進む。**

目標達成に向けて  
みんなで取り組む！  
**2マス進む。**

# GOAL!!

伊勢志摩の  
活性化と発展を  
実践！

地域人材育成どころ

学部学生や自治体職員・産業界者に対しプログラムを実際に運用することを通じて伊勢志摩定住自立圏での人口定住のために必要な生活機能を確保し、地域の活性化と発展を図る取組です。  
このような取組は、他の地方大学・短大や自治体・産業界等にとっても必ずしも必ずしも利用可能な実践事例となること期待できます。

目標とする学生像  
地域に定住し、1次産業関連事業や6次産業・観光業・行政職・地域振興事業等に情熱と意欲をもって従事するアクティブ・シチズン



地域の課題に取り組む  
活動拠点ができた！  
**1マス進む。**

地域志向カリキュラムの特徴として「CLL (Community Learning Labo)」を設置します。圏域自治体から施設の提供・紹介を受け、学生・教員等が地域の課題解決活動を行うための拠点となる施設であり、学生は地域で活動する様々な人・企業・行政・団体・NPO等との対話・連携・協働経験等を通じて地域でのコミュニケーション手法を学んだり、定住自立へのアイデア創出ワークショップなども予定しています。

<http://coc.kogakkan-u.ac.jp>